

平成29年度 施策評価シート

[施策No.] [施策名]		[61] 生活の安定に向けた支援の充実			主管	福祉部 保護課
施策の概要	長期総合計画体系	[将来像] Ⅲ 暮らしやすいまち [基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり [小柱] (6)生活の安心と安定に向けた支援				
	10年後のめざす姿	● 就労支援などの充実が図られ、自立生活を送ることができる方が増加しています。				
	主な取り組み	①	生活保護受給者に対する就労支援の充実	⑥		
		②	路上生活者の社会復帰に向けた支援	⑦		
		③	生活困窮者に対する包括的な支援	⑧		
		④		⑨		
⑤			⑩			
* 施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。						
施策の執行状況	施策の指標	指標名	計画策定時 (26年度末)	目標 (36年度末)	27年度	28年度
		自立促進事業等による就労者数	年200人	増加	年257人	年256人
評価結果	B	(施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえて評価)				
		平成27年1月に就労支援コーナーたいとうを区庁舎内に設置するなど、ハローワークと連携し就労支援体制の強化を図っている。こうした取り組みにより、就労による生活保護からの自立を促進しているものの、施策の指標である就労者数は平成26年度実績である250人から横ばいとなっているため、今後は就労意欲の低い生活保護受給者への対応に重点を置く必要がある。 路上生活者に対する支援については、巡回相談事業及び自立支援センターでの就労支援により、平成28年度と同センターでの就労自立率は約50%となり、区内の路上生活者数は、平成28年8月の概数調査結果では79人と、巡回相談事業を開始する前の平成18年1月の694人と比較して大幅に減少している。 また、平成27年度から開始した生活困窮者への自立支援においては、ハローワークと連携するなど自立に向けた就労支援を実施しており、27年度13名、28年度24名が就労に結びついている。				
	A 順調である B 一部課題がある C 課題がある					
	学識経験者からの意見	就労支援の体制強化のため、ハローワークと連携して取り組んでいることについて評価する。 路上生活者に対する支援については、自立支援センター入所者の就労自立率が増加しており、評価できるが、その要因をきちんと分析し、その結果を就労支援などの一層の充実に活かしてほしい。				

施策を構成する行政計画事業の進捗									
	(事業No.) 行政計画事業名	所管課	現況 (26年度末)	計画事業量	年度別 事業計画	27年度	28年度	29年度 (見込み)	
1	(187)自立促進	保護課	自立費用支給件数 179件	年230件	目標	230件	230件	230件	
					実績	103件	73件	45件	
						目標			
						実績			
						目標			
						実績			
				目標					
				実績					
2	(188)路上生活者対策 都区共同事業	保護課	路上生活者対策 都区共同事業 推進	推進	目標	推進	推進	推進	
					実績	推進	推進	推進	
						目標			
						実績			
						目標			
						実績			
				目標					
				実績					
3					目標				
					実績				
						目標			
						実績			
						目標			
						実績			
				目標					
				実績					
4					目標				
					実績				
						目標			
						実績			
						目標			
						実績			
				目標					
				実績					